

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	電気自動車等導入事業							事業コード	540712					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり							
	施策名	1 エネルギーの地産地消の推進						施策コード	221					
事業担当	所属	05010000 市民総務部 総務課				所属長	吉田和彦							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	05 財産管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	66	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名						R4現在の状況	継続中		
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☒ その他 (補助金)													
関連事業	<u>公用車集中管理事業</u>													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	持続的な脱炭素社会の実現に向け、低炭素型次世代交通の普及促進を図ることを目的とし、市が所管する公用車を計画的にEV等へ更新する。					
対象者			対象者数		単位あたりコスト	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0		5,531		6,085		予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0						
小計(①～③)		0		5,531		6,085						
予算財源内訳	① 一般財源	0		5,105		885						
	② 国支出金	0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0						
	④ 地方債	0		0		4,700						
	⑤ その他特財	0		426		500						
決算情報	① 流充用額	0		147								
	② 配当予算	0		5,678								
	③ 執行額	0		5,678								
	④ 執行率	0.0%		100.0%								
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.33	/	0.00	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	0		2,640		2,640		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		8,318		2,640		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	電気自動車購入補助金(総務課)		種類	雑入		212		決算付属資料	46	頁
			電気自動車導入事業(地域活性化事業債)			総務債		3,200			50	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	公用車稼働率	%	/	/	41 / 45	/ 45	45
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	購入台数	台	/	/	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト				5678.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・市が実施するイベントで、非常用電源としてPHEV車を使用しライトアップを実施。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・二酸化炭素の排出量削減や、燃料費の削減を図ることが可能である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・再エネ由来の電気により充電することで、燃料費(ガソリン代)を抑えることができ有効性は高い。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・公用車の未稼働時間の把握が困難。 ・計画的なEV車等への更新と併せ、充電設備の整備が必要。		
改 善 策	・車両管理システムの新規導入 ・高圧受変電設備等の更新		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	市役所本庁舎照明LED化推進事業					事業コード	540713				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	1 エネルギーの地産地消の推進				施策コード	221				
事業担当	所属	05010000 市民総務部 総務課				所属長	吉田和彦				
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	66	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・ 二酸化炭素排出量削減や消費電力量の抑制を図ることを目的とし、市役所本庁舎の執務室や屋外の水銀灯等をLED照明に改修する。										
対象者						対象者数			単位あたりコスト		
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()										
委託先・実施主体等	三菱電機クレジット株式会社関西支店										
事業概要 (箇条書き)	・ 市庁舎本庁舎の執務室や屋外の水銀灯のLED照明化を実施 ・ メンテナンスを含めたリース契約を7月から実施										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	報償費	24		プロポーザル審査会に伴う謝礼							
	旅費	3		プロポーザル審査会に伴う費用弁償							

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0		2,210		7,358		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
	小計(①～③)	0		2,210		7,358								
予算財源内訳	① 一般財源	0		2,210		7,358								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	0		△ 2,183										
	② 配当予算	0		27										
	③ 執行額	0		27										
	④ 執行率	0.0%		100.0%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.28	/	0.00	0.28	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	0		2,240		2,240		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		2,267		2,240		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称				種類			実績金額			決算付属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	CO2の削減	t/年	/	/	22 / 139	/ 0	139
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	改修灯数	灯	/	/	426 / 1471	/ 677	0
	単位あたりコスト				0.1		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・市庁舎本庁舎の事務室等の蛍光灯をLED照明に改修。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・二酸化炭素の排出量削減や、電力使用量の削減を図ることが可能である。 ・メンテナンスリースのため、維持管理費用がかからず、職員や中央監視員の負担軽減が可能である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・脱炭素社会の実現に向け、二酸化炭素排出量を削減することができ有効性は高い。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・全ての照明がLED照明に改修されて電気使用量及び二酸化炭素排出量の削減効果がわかる。		
改 善 策	・照明器具の早期納品を含め、施工業者と調整を行う中で早期の改修を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	地域貢献型エネルギー推進事業							事業コード	540709		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	1 エネルギーの地産地消の推進						施策コード	221		
事業担当	所属	25080000 産業政策部 エネルギー・環境戦略課				所属長	谷口 智広				
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 環境保全費	会計	01 一般会計	決算付属資料	152・154	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第2期福知山市環境基本計画、福知山市再生可能エネルギー活用プラン			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	2050年に「ゼロカーボンシティ」を実現するため、市民や事業者一人ひとりが、再生可能エネルギーの普及や省エネに取り組み、脱炭素を実現するとともに、エネルギーの地産地消によるエネルギー代金の流出防止及び地域内循環を実現し、次世代に誇れるまちづくりを実現する。				
対象者	全市民	対象者数	76,377	単位あたりコスト	0.6
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	6,653		35,040		13,736		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		△ 12,000		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		6,653		23,040		13,736								
予算財源内訳	① 一般財源	1,153		14,426		4,516								
	② 国支出金	2,000		0		0								
	③ 府支出金	3,500		4,794		1,950								
	④ 地方債	0		3,400		0								
	⑤ その他特財	0		420		7,270								
決算情報	① 流充用額	0		△ 34										
	② 配当予算	6,653		23,006										
	③ 執行額	3,981		18,405										
	④ 執行率	59.8%		80.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.10	/	0.00	3.40	/	0.00	3.40	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	8,800		27,200		27,200		27,200		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		12,781		45,605		27,200		27,200		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	地域貢献型エネルギー推進事業(きょうと地域連携交付金)		種類	衛生費府補助金		実績金額	1,749		決算付属資料	26		頁
			家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金			衛生費府補助金			3,045			26		
			地域貢献型エネルギー推進事業(地域活性化)			衛生債			3,400			50		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	再エネ自給率	%	3.6(直近数値) / 3.8		調査方法検討中 / 4		調査方法検討中 / 0		/ 0		-
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	家庭向け再エネ補助件数	件	15	/	20	15	/	15	25	/	30
		単位あたりコスト	657.4		265.4		736.2				
	雨水補助件数	件	4	/	20	13	/	15	-	/	-
		単位あたりコスト	2465.2		306.2						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・世界的な目標である脱炭素社会の実現に向け、公共施設においては地域新電力と連携しオンサイトPPA事業(第三者所有モデル)を市民出資を得て行うことで、エネルギーの地産地消と再エネを促進した。 ・市民による脱炭素を加速させるため、太陽光発電設備と蓄電池の同時設置やZEHの建設に対し、補助制度により支援した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・「地域貢献型再生可能エネルギー事業の推進に関する協定」(5者連携協定)の枠組みを活用して、公共施設でのオンサイトPPA事業(第三者所有モデル)を実施することにより、初期投資における市の財政負担なくエネルギーの地産地消を促進した。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・公共施設におけるオンサイトPPA事業や、市民への太陽光発電設備設置支援、ZEH建設支援により、再エネ自給率を高めることが出来る。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	■「地域における地域貢献型再生可能エネルギー事業の推進に関する協定」(5者連携協定)の枠組みにより、市内公共施設の3か所で、たんたんエナジー発電合同会社(たんたんエナジー株100%出資)が設置する太陽光発電設備により発電された電気を福知山市が使用する地産地消の取組み「公共施設でのオンサイトPPA事業(第三者所有モデル)」を開始し、この事業で年間約31万kwh(一般家庭の72軒分に相当)の電力を生み出し地産地消を進めた。これにより、CO2の削減に加え、エネルギー代金の流出防止及び地域内循環にも寄与した。また、高圧受電の公共施設43施設において、再エネ由来電力に切り替えを行ない、市が率先して脱炭素を促進した。さらには、公用車4台をEV等(PHEV含む)に更新した。 ■太陽光発電設備及び蓄電池の補助制度については、予算枠である25件の申請があった。一方で、ZEHの補助については、当初予定していた予算枠に対し3分の1程度に留まった。今後は、申請者数の拡大が課題となる。		
改 善 策	■地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の一つとして、エネルギー・環境戦略推進本部会議及びその作業部会で推進計画を具体化し推進する。 ■国・府が行なう補助制度を踏まえ、新たな補助制度を検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	街路灯LED照明化事業							事業コード	120233					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり							
	施策名	1 エネルギーの地産地消の推進						施策コード	221					
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課				所属長	清水 俊行							
会計情報	款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	02 道路維持費		会計	01 一般会計	決算付属資料	186	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	ー						R4現在の状況	他事業へ統合	
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	適切なLED照明に取り替える事により、SDGsの理念のもと二酸化炭素排出量の削減による環境負荷の低減をはじめ電力量の削減、維持管理の削減を図る。					
対象者	全市民		対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0		11,928		0		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0				
	小計(①～③)	0		11,928		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	0		11,928		0				
決算情報	① 流充用額	0		△ 4						
	② 配当予算	0		11,924						
	③ 執行額	0		11,924						
	④ 執行率	0.0%		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.37	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	0		2,960		0		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		14,884		0		0		
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
			/	/	/	/	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	更新数	灯	/	/	1423 / 1035	/	1423
	単位あたりコスト				8.4		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	SDGsの理念のもと二酸化炭素排出量の削減による環境負担の軽減を図る。市道の維持管理としての街路灯の更新は道路管理者しか実施し得ず、必要な事業として実施している。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	LED化することにより、電気料金の削減、維持管理費の削減等財政負担の軽減を図る。入札に際してはプロポーザルを実施しており、可能な限りのコスト削減と効率的な事業実施を行っている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	全ての街路灯の更新を完了し、電気料金は約60%削減されている。年額約1,100万円の削減が期待されており、今後も事業実施前との比較により事業効果を適切に把握していく。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	全ての街路灯についてLED化を完了した。今後は毎年リース料を支払い、令和13年度以降は福知山市へ帰属される。リース料については道路橋りょう一般事業(120203)にて予算計上及び執行する。		
改 善 策	特になし。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	公園灯LED照明化事業				事業コード	530234					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり					
	施策名	1 エネルギーの地産地消の推進				施策コード	221				
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課			所属長	芦田 裕人					
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	04 公園管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市公園施設長寿命化計画			R4現在の状況	他事業へ統合	
根拠法令等											
事業区分	☐ 法定受託事業 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	既設公園管理事業、街路灯LED照明化事業(道路河川課)										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	公園照明をLED化することにより、電気料金等の財政負担ならびに温室効果ガス排出抑制等の環境負荷の軽減を図る。										
対象者	市民				対象者数	77,000		単位あたりコスト	0.0		
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (賃貸借契約)										
委託先・実施主体等	三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社グループ										
事業概要 (箇条書き)	公園照明を水銀灯からLED灯へ交換し、10年間(令和3～12年度)照明の維持をリース契約により実施する。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	使用料及び賃借料	2,702		LED公園照明賃貸借							

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0		3,976		0		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		0		3,976		0							
予算財源内訳	① 一般財源	0		3,976		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	0		△ 1,274									
	② 配当予算	0		2,702									
	③ 執行額	0		2,702									
	④ 執行率	0.0%		100.0%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.00	/	0.12	0.00	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	0		300		0		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		3,002		0		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	定性的評価		/	/	/	/	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	公園灯LED化	灯	/	/	443 / 394	/	394
	単位あたりコスト				6.1		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・LED化により電力の省エネルギー化や温室効果ガス(CO2)の排出量削減を図ることができる。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・公募型プロポーザル方式により業者選定を行っている。 ・LED化と照明のリース契約を包括的に行うことによりコスト削減や効率化を図っている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・維持管理を含めたリース方式で契約することにより、維持・修繕等に要する事務手続きを大幅に削減することができている。 ・電気料金の削減を図ることができている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・令和3年度で照明のLED化は完了しており、令和4年度以降は、公園灯の維持管理だけとなり、既設公園管理事業に統合した。 ・民間企業の技術力や迅速な対応が期待できる、維持管理を含んだLED照明のリース契約を、長期で締結することにより、事務手続きの効率化と適切な維持管理ならびにコスト削減を図れている。 ・照明灯以外の部分についてはリース契約の範囲外となるため、柱部分などの健全度の把握が必要である。		
改 善 策	・定期的に柱部分等の点検を行い、公園利用者の安全確保に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)